

マンガース生息確認調査・防除事業 【鹿児島県】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 〔環境・エネルギー分野〕

平成21年6月、日本では奄美大島と沖縄本島のみ分布しているとされていたマンガースが、鹿児島県鹿児島市内にも生息していることが確認されました。外来生物であるマンガースを放置すれば、地域の生物相への影響や農業被害が発生する恐れがあります。鹿児島県では、マンガースの生息情報の早急な把握及び効果的な防除を本事業により進めています。

| | | | |
|------|--|----------|------------|
| 事業概要 | 鹿児島市喜入地区で生息が確認された、外来生物マンガースの生息状況を調査するとともに、防除を実施する。 | | |
| 委託先 | (財)鹿児島県環境技術協会 鹿児島市七ツ島;従業員数119人 | 新たな雇用創出数 | 4人 |
| 事業費 | 約1,000万円(平成22年度) | 事業の開始 | 平成22年4月8日～ |



| | |
|------|---------------------------------------|
| 業務内容 | 地元での聞き取り調査・アンケート調査・自動撮影調査などによる生息情報の収集 |
| | 情報をもとに、耕作地・草地・竹藪・山林などに生け捕り罠をしかけての捕獲 |
| | 大学教授など専門家を交えての検討会による、より効果的な対策の検討 |



罠にかかったマンガース

調査員
より..

雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けず、マンガースを追い続けています。

辛いことも多いのですが、やりがいのある仕事です。鹿兒島のために頑張ります。

工夫を重ね、直感を磨いて、1日も早い根絶を目指します。

マンガース調査を通して、農業のこと、他の鳥獣のことなど、地域のごことが幅広く見えてきます。

地元の方が良く理解して、協力して下さるのでありがたいです。

今後の姿と
課題

生息情報の多いところを中心に、周辺地域にいたるまで、できる限り多くの罠をしかける。新しい生息情報の収集も続け、この地域からの根絶を目指す。



チームリーダー 岡田滋さん

マンガースとの戦いは、思うようにいかないことばかり。「イタチごっこ」ならぬ「マンガースごっこ」ですが、最後には勝利すると信じています。



やぶに分け入った調査



毎日の罠の点検



罠の設置